

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 26日 更新

事務事業名		粗大ごみ収集運搬助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	市民生活部	課長名	岡田光弘
	施策	21	廃棄物の抑制とリサイクルの推進			所属課	環境衛生課	担当者名	前田 圭亮
	施策の柱	63	廃棄物の適正処理			所属班	環境衛生班	(内線)	1143
予算科目	会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 10198	根拠法令	合志市粗大ごみ収集運搬助成金交付要綱		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	各地区において、地域の高齢者一人暮らし等で粗大ごみを搬出できない世帯の粗大ごみを収集運搬する場合に燃料費等を補助する目的で、平成6年度から開始した。 区長が区民の家庭用粗大ごみを収集運搬する場合に費用の一部を助成する。 助成金の額：運搬回数3回以下の場合25,000円、4回以上の場合、1回増すごとに10,000円加算一人暮らし高齢者は増加している。トラック等の車両や人間の手配が容易ではない。
【業務の流れ】	補助金交付申請、審査、交付決定通知、支払い事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動)(DO)	補助金交付申請受付、審査、交付決定通知、支払い事務 30年度実績なし	31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 申請の相談があった時点で対応する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 ア: 申請件数 イ:	予算の主な増減の理由 予算計上なし
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 一般廃棄物		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) ア: 粗大ごみ処理量 イ: t
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自分で処理ができない粗大ごみを区が収集することにより適正に処理する		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ア: 収集した量 イ: t
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠 前年度の粗大ごみ収集の相談及び申請がないので、成果指標の「収集した量」と目標値については「0t」と設定した。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
① 活動指標	ア 件		0	0	0	0	0	0	0	0
② 対象指標	ア t		149	89	104	166	104	104	104	104
③ 成果指標	ア t		0	0	0	0	0	0	0	0
投資 入 費 量	財源内訳	千円								
	国庫支出金									
	都道府県支出金									
	地方債									
	その他									
	繰入金									
	一般財源									
(A) 事業費計	千円		0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	0	0	0
正規職員従事人数	人		2	2	2	0	2	0	0	0
延べ業務時間	時間		20	16	16	0	16	0	0	0
(B) 人件費計	千円		0	63	63	0	63	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	63	63	0	63	0	0	0

事務事業名	粗大ごみ収集運搬助成事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 この事業について、区長会で周知することで目標達成の見込みはある。希望する区があれば補正対応する。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 粗大ごみの収集運搬する車両等の確保の問題があり、実施する区が増えない。この事業について、区長会で周知することで向上の余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金の交付のみである。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金の交付に関する事務のみで削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 すべての地区を対象としているが、粗大ごみを収集運搬する車両等の確保の問題があり、実施する地区としない地区があり、粗大ごみの処理に関する費用に差が生じる。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助金の交付に関する事務のみであり適正だと考える。

3 評価結果の総括 (CHECK)

今後要望があった場合は速やかに対応する。地域からの要望を拾い上げるため、制度の周知徹底が必要。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						